

所管事務調査報告
産業建設常任委員会

委員長 阿久津武之
県北木材協同組合の
施設整備状況

(調査日 2月13日)

旧馬頭東中学校跡地において、4月から県北木材協同組合那珂川工場が操業を開始することから、施設の整備状況について調査しました。

敷地内には、約500平方メートルの建物が3棟建てられ、製材設備として、選木機、製材搬送ライン、製品選別ラインなどが、既に配置されています。

平成24年度以降、第2期工事として、乾燥施設や仕上げ加工機など2次加工施設の整備を予定しているということです。

将来的には、製材した時に出る廃材を利用したバイオマス発電の建設も計画しており、発電に伴う熱を利用して、農作物の温室栽培やウナギの養殖、また、校舎の空き教室で、きのこ類



県北木材協同組合を調査する委員 (旧馬頭東中学校跡地)

の栽培なども検討中のことでした。
町の林野面積は約64パーセントを占めています。この森林資源の有効活用を図ることで、林業の振興を含め、地域の活性化にもつながると考えられます。
また、雇用の面においても、当初は12〜13人を採用する予定ですが、将来的には20〜30人が見込まれ、地元雇用創出にも期待できるものと思っております。

平成24年度一般会計歳入歳出の内訳 (総額74億9,402万円)

歳入	自主財源 (37.6%)			依存財源 (62.4%)			
	町税 18億3501万円 (24.5%)	繰入金 4億7620万円 (6.4%)		地方交付税 30億円 (40.0%)	町債 4億8100万円 (6.4%)		
	分担金及び負担金 1億4265万円(1.9%)	使用料及び手数料 1億1825万円(1.6%)	その他の自主財源 2億4606万円(3.2%)	県支出金 4億2494万円(5.7%)	国庫支出金 3億6840万円(4.9%)	その他の依存財源 4億151万円(5.4%)	
歳出	民生費 19億3498万円 (25.8%)	公債費 10億4868万円 (14.0%)	総務費 9億8948万円 (13.2%)	教育費 9億3071万円 (12.4%)	衛生費 6億7145万円 (9.0%)	土木費 6億4258万円 (8.6%)	消防費 5億4783万円 (7.3%)
					農林水産業費 3億1208万円(4.2%)	その他 4億1623万円(5.5%)	

一般会計の町民1人当たりの目的別予算額 (前年度との比較) (単位:円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費
5,690 (6,307)	52,545 (52,212)	102,755 (105,590)	35,657 (35,051)	16,573 (29,135)	16,148 (15,585)
土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	予備費
34,124 (29,148)	29,092 (37,572)	49,424 (51,369)	1 (1)	55,689 (56,618)	266 (262)
合計					
397,964 (418,850)					

※上段が平成24年度・下段が平成23年度

所管事務調査報告
教育民生常任委員会

委員長 大金 市美

「えにし苑」など

3施設を調査

(調査日 3月21日)

今回の調査は、町指定地域密着型サービス及び介護予防サービス施設である小規模多目的ホーム「えにし苑」と特別養護老人ホーム「かたくりの郷」の増床計画の進捗状況及び設備面等の調査を、また、「大山田ノンフェール くらねえ」の運営状況について調査対象として実施いたしました。

小規模多目的ホーム

「えにし苑」については、宿泊者9人、通所者15人の受け入れ態勢が整備され今春オープン。また、「かたくりの郷」は、昨年の震災の影響で整備計画が大幅にずれ込みましたが、老人ホーム20人、ショートステイ10人、デイサービスは最大30人の受け入れることができ、来春オープンが予定され、高齢化が進むなか、

町内入居待機者の解消と福祉の向上に向け、地域に密着した施設としての役割を果たしていくものと期待される。

「大山田ノンフェール くらねえ」については、様々な事を抱える人たちの居場所の提供や相談を受ける等国県町の指導の下に開設されている施設であり、個人情報保護等により、広く活動内容について公に出来ない事情があるが、ステンドグラス教室、はた織りなどの創造の場所としても開放しているのが現状であるが、更に地域と密着したものとすることが望まれる。



「えにし苑」の調査 (旧谷川小学校跡地)

広報モニターさんのご意見・感想が、このように活かされています。 No.2

項目	広報モニターさんからのご意見・感想	改善したところ
一般質問について	・一般質問の答弁の内容をもう少し要約すると読みやすい。	・一般質問は一議員1ページという考え方で、議員自らが要約・執筆したものです。写真についても一枚程度は掲載することにしました。
	・一般質問「ここが聞きたい」は一目でわかるので良い。	・一般質問の項目については、「ここが聞きたい」としてまとめて掲載し、質問の内容がわかるようにしています。
文章について	・文章の長さなど読みやすく工夫されていて大変良い。	・簡潔明瞭に表現するよう、努力しています。 ・文章はなるべく短くして、理解しやすいようにしています。
色の使い方について	・紫色は読みにくい感がある。(特に囲み記事) ・中のページの色使いは暖かい色の方が良い。	・表紙と最終ページはカラー印刷にし、発行月(年4回)ごとに色を変え、変化にとんだ見やすい色使いに心がけています。
その他意見	・議案の承認や議決についての(賛成多数原案可決)の書き方は、賛成、反対の人数を入れた方が良い。議案に対しての議員の動向が、より分かりやすい。 ・執行部案について、賛成者、反対者の氏名も載せて欲しい。	・前号までは、議案に対する賛成者と反対者の人数を掲載していましたが、今回から採決で賛否のわかれたものについて表にまとめました。
	・難しい言葉が出てくるので、中学生でもわかる説明コーナーがあると良い。 ・外来語を使用するときは、説明を付けて欲しい。	・行政用語、議会用語などは出来るだけ使わないようにして、中学生でも理解できるよう簡単なことばで表現をするよう心がけています。また、分かりにくい用語については、なかちゃんのワンポイントアドバイスで解説するようにしています。
	・議会の動き欄で、今後の予定も示した方が良い。	・議会の動きについては、議会だよりが3か月に一回の発行であることや直前にならないと決まらない会議や行事等が多いため、今後の予定についての掲載は難しいです。掲載するとすれば定例会の開催予定程度になります。
	・全国広報研修会という研修機会があることを知り、広報委員の努力が伺えた。更なる向上を期待する。	・議会広報特別委員会委員全員が全国町村議会広報研修会に参加し、他の町村議会が発行している広報紙に対する専門家の意見などを参考に、議会だよりの内容充実に取り組んでいます。